



河小だより



四日市市立河原田小学校
学校通信 第43号
令和6年 2月 6日(火)
文責 校長 鳥居 純樹

2月3日(土)は節分でした。節分は旧暦の季節を分ける日にあたります。翌4日(日)は立春で暦の上では、春となります。節分には、豆をまき「鬼は外!福は内!」と鬼を追い払い、福を招き入れたことと思います。子どもたちには、自分の中にある「鬼」(さぼり鬼、めんどくさがり鬼など)を追い払い、今年度最後まで成長し続ける姿勢を見せてほしいと思います。

おすすめの本

1月29日(月)から図書館まつりが始まりました。図書委員会の人がおすすめの本を各教室に知らせることで読書の楽しさを紹介してくれました。今週は、びっくんさんや図書委員会の皆さん、先生シヤッフルでの読み聞かせを予定しています。この機会にたくさんの本を読み知識を広げてほしいと思います。

河小だより第42号で「夕読」のお願いをさせていただきましたが、本を紹介させていただきます。保護者の皆さまも子どもたちといっしょに読書をしていただけると幸いです。



「自己肯定感の教科書」(中島 輝 著)

子どもたちに自己肯定感を育てていくためには、私たち周りの大人が自己肯定感を高くしていく必要があります。この本には自己肯定感を高めるためのたくさんの方法が記されています。それは、子どもたちにも有効な方法があります。ご家庭で家族みんなが自己肯定感を高めることで、周囲の人も尊重できるようにしてほしいと願っています。

「泣いた赤鬼」(浜田広介 作)

「人間と仲良くなりたい」と考えた赤鬼。青鬼に相談すると青鬼が村で暴れて赤鬼が退治して村の人と赤鬼は仲良くなります。しかし、今まで仲のよかった青鬼は、赤鬼の前から姿を消してしまいます。友達の大切さを考えさせられる絵本です。



入学説明会

4月から1年生に入学する児童の説明会を2月2日(金)に実施しました。校長からは、入学式までに心がけてほしいこと等について話しました。1年生からは具体的な注意事項など説明をし、学用品の販売を行いました。



暦の都合で入学式が4月8日(月)となります。ピカピカの1年生が河原田小学校に入学して新しい仲間が増えることを楽しみにしています。入学までに学用品の準備とともに心の準備もしていただき、新しい環境で始まる学校生活へ備えてほしいと思います。



第4回コミュニティスクール運営協議会

1月31日(水)第4回コミュニティスクール運営協議会を開催しました。今年度の学校づくりビジョンの取り組みと保護者や児童のアンケート結果をもとに1年間の教育活動をふりかえりご意見をいただきました。

今年度は新型コロナウイルスが5類に移行し、地域の方にもたくさんお世話になりました。図書ボランティアのぶっくんや、ミシンボランティアの方々など地域との連携が昨年度よりも充実したことを成果として挙げていただきました。また体力テストの結果も昨年度課題だった、20mシャトルランや反復横跳びなどが改善できたことは、日々の体育の時間の取り組みを充実できた成果だと思えます。

【重点1】に掲げる「確かな学力の定着」については、全国学力・学習状況調査、みえスタディチェックなど国語、算数、理科が県平均を下回り課題であることをご指摘いただきました。学校としても、算数科の研修に組み込み、授業を公開して職員の指導力向上することで子どもたちの学力の定着につなげていくことができるよう、引き続き努力していきたいと考えています。また読書活動については、家庭と連携して読書をすることで子どもたちの知識や興味を広げていくことが大切であることもご指摘いただきました。子どもたちの表現力をつけていくうえでも読書に親しませていけるよう取り組んでいきます。

全般的には、子どもたちの意欲低下が気になるという点を指摘いただきました。「学校が楽しくない」という回答も昨年度よりも児童アンケートで割合が高くなっています。学校は、子どもたち一人一人の実態や状況をつかむとともに授業で「わかる喜び」「楽しかった」と実感できる授業づくりができるよう努めていきたいと考えています。

学力や学習状況は劇的に変わるものではありませんが、日々の学校での取り組みとともに学習定着に向けての家庭学習を重ねていくことで子どもたちの自信につなげていきたいと思えます。学校では、子どもたちに全力を出し切り、「やりきった」といえる取り組みとなるように指導の徹底を図っています。

アンケートや学習状況調査の結果（がすべてではありませんが）に組み込みの成果が表れるように日々取り組みを改善していくことを改めて大切だと感じました。

コミュニティスクール運営協議会や保護者の意見、要望を取り入れながら今後も学校運営に努めてまいります。

ながなわチャレンジ

2月2日(金)の20分休みがながなわチャレンジ最終日でした。前日は運動場の状態が悪くながなわチャレンジに取り組めなかったのですが、校長から「全てのクラスがクラスの記録を+5回更新すること」という課題を出しました。最終日、クラスの目標達成に向けて一生懸命跳ぶ姿が見られました。



クラスが一つになって共通の目標に取り組む姿は素晴らしかったのですが、校長からの課題は達成することはできませんでした。その要因として、取り組む回数も天候により少なくなったことも挙げられます。子どもたちの持っている力を十分に発揮できるように取り組みを改善できるように検討していきたいと思えます。これからもクラスで一つの目標に向かって精一杯取り組む姿勢を続けていってほしいと思えます。

